

OUR 新日本スポーツ連盟東京都連盟機関紙

SPORTS 東京

〒170-0013 豊島区東池袋 2-39-2
大住ビル 401
TEL: 03-3981-1345 FAX: 03-3981-8315
E-mail njsf@tokyo.email.ne.jp
9月号 2009年9月11日
発行責任者: 都連盟理事長 萩原 純一

第14回 日本のは「反核・平和の月」

東京 反核平和マラソン



街ゆく人に走りながら、
楽しく、平和をアピール

1945年に広島・長崎に原子爆弾が投下されて64年。今年も8月1日(土)に14回目をむかえる東京反核平和マラソンが行われました。今年は例年に比べると非常に涼しく走りやすいコンディションのもとでの開催となりました。

この反核平和マラソンは、タイムを競うレースではありません。ランナー全員で沿道の方々に「核兵器廃絶」など平和を訴えながら、1キロ7分ほどのペースでゆっくりと歩道を走るイベントです。

今年も昨年に引き続き夢の島公園、北区役所、大田区役所を出発し代々木

公園を目指す3コースで開催されました。区役所前広場などで休憩をとりながら、都内で平和をアピールする行動に、93名のランナーが参加しました。

世界的に核兵器廃絶の世論が高まる

今年には特にアメリカのオバマ大統領がプラハでの演説で「核兵器のない世界を目指す」と述べたことが、核兵器廃絶の運動を勢いづけ、世論を動かしています。また、新日本スポーツ連盟が各地で行っている反核平和マラソンに対し、平和市長会議と日本非核宣言自治体協議会から、新たに賛同のメッ

セージが寄せられました。いずれも反核平和マラソンについて「誠に意義深く、その取組に対し深く敬意を表します」、「取組みを続けられますことを期待いたします」と私たちの活動を励ます内容になっています。

このような時に「一人ひとりができることから行動を起こそう」と東京反核平和マラソンが行われ成功したことは大変意義あることでした。今後も核兵器廃絶の運動を強めていくためにも来年は、反核平和マラソンにさらに多くのおみなさんが参加されることを期待します。

協力していただいた自治体・団体

(後援名義) 港区、中央区、日本非核宣言自治体協議会、平和市長会議
(メッセージ) 狛江市、武蔵野市、日野市、北区、日本非核宣言自治体協議会、平和市長会議
(区役所前広場の利用) 江東区、中央区、港区、大田区、北区、板橋区、豊島区



平和市長会議…荒木武・広島市長（1982年）が、世界の都市が国境を超えて連帯し、ともに核兵器廃絶への道を切り開こうと提唱しうまれました。1990年にはNGOとして認められました。現在、世界134カ国・地域3,104都市の賛同を得ています。

日本非核宣言自治体協議会…1984年に広島県府中町で設立。生命の尊厳を保ち、人間らしく生活できる真の平和実現に寄与するため、全国の自治体さらには、全世界のすべての自治体に核兵器廃絶、平和宣言を呼びかけるとともに、非核都市宣言を実施した自治体間の協力体制を確立することを目的とする。

全国の「反核平和マラソン交流集会」が広島で開催されました！

8月5日、広島市内に於いて新日本スポーツ連盟と第27回広島・長崎反核平和マラソン実行委員会の共催による「反核平和マラソン交流集会」が開催されました。



8月6日、平和公園内でランナー・要員の記念撮影。これから3日間で500kmという過酷な反核平和マラソンが始まる。東京の参加者もいます！

東京反核平和マラソン実行委員会からは、都連盟の井上事務局長が参加しました。集会には、翌6日に広島の平和公園から長崎に向けて出発する平和ランナーのみなさんが約20名も出席し、全国連盟スポーツ権運動局の吉成克実理事から、主催者を代表してあいさつが行われました。

集会では、各地の反核平和マラソンの交流のほか、来年の開催に向けて東京～広島・長崎1500km反核平和マラソンの提起も行われました。

(編集部)

FSGT 代表団 9/18
が来ます! ~20

フェアプレーを発揮し合う“熱い”国際交流 —FSGT 代表団歓迎フットアセット東京大会

フランス発祥の7人制サッカー、フットアセット (FA7)。全国サッカー協議会は9月18日にFSGTの9名の代表団を迎え、10日間の滞在中に東京、神奈川、大阪で大会を開催します。東京の大会は9月20日に駒沢第一球技場で行われ、これまでにこの競技を経験したことのあるチームを中心に参加してもらい、本場のプレーを体験することによってさらにFA7の魅力を知ってもらえたらと期待しています。そして、将来的には、今回参加されるチームおよび各選手がこの競技を日本で普及していく主体となってほしい、私はFSGT代表団招待の責任者の一人としてそのような願いも持っています。

全国サッカー協は、過去2回FSGTからの招待を受け、FA7の代表団をフランスに派遣しています。その経緯から、「大変そうだが、いつかは日本にも招待しなければ」という義務感にも似た思いが全国役員の中にはありました。しかし、昨年8月に正式な招待をして以来、準備スタッフ間の綿密なメールのやり取りや、今年に入ってから2度の全体会議の開催など、次第に内部に連帯感が生まれ、みんなで国際交流を楽しみFSGTとの友好的な関係を発展させていこうとする気運が高まってきました。また、今回はFSGTのFA7の責任者フィリップと全国サッカー協の準備スタッフとが直接のメールのやり取りを通して、情報交換をす

るなど、両組織の種目レベルの関係者たちが共同してこの交流を成功させようとする新しい取り組みも進んでいます。全国サッカー協では、この準備と並行してFA7のガイドブック作りも進めており、今年では日本でのFA7のさらなる普及に向けた重要な年といえそうです。

(東京サッカー協FA7担当 宇野健治)



萩原理事長の FSGT 「子供スポーツフェスティバル」 体験記

「スポーツをすること」は子どもの権利～スポーツにより心身を成長させ、笑顔あふれる子どもたち

この間様々な種目やイベントで交流を深めてきたフランス労働者スポーツ・体操連盟（以下、FSGT）から、新日本スポーツ連盟に、ユネスコ子どもの権利条約制定 20 周年を記念した「第 4 回子供スポーツフェスティバル」（6/16～21）の招待状が届きました。これに、長年子どもたちのスポーツに関わってきた萩原都連盟理事長と石川正士神奈川県連盟理事長が参加しました。

「第 4 回子供スポーツフェスティバル」は、6 日間にわたって子供達に様々なスポーツを体験させるものでした。スポーツだけでなく、「子供の権利」を学ぶコーナーがあり、子供たちがゲームをしながら「子供の権利」を学ぶというシステムにも感心させられました。



多種多様な種目を実施。これは「ダブルダッチ」

多彩な種目によって心身の成長を

日本のように、1つの種目を徹底して教えるというスポーツ感覚ではなく、たくさんのスポーツの中から子供の心身を伸ばす取り組みとして位置づけられており、子供たちの笑顔があふれて、それはそれは楽しく素晴らしい取り組みでした。

どんな種目が行われたのでしょうか。陸上系では、ハードル、短距離走、やり投げ、体操系では、器械体操、トランポリン、組体操、球技系では、サッカー、ラグビー、ハンドボール、バレーボール、アウトドア系では、自転車、ペタンク、テニス、フリークライミング、ローラーブレード、インドア系では、レスリング、ボクシング、ダブルダッチ等です。これらを時間単位で移動して多くのスポーツを体験します。

社会全体が大きく後押し

私は土曜日、日曜日に行われたバレーボールでインストラクターとしてお手伝いをしました。フランスでの青少年にはバレーボールは日ごろ縁遠い種目のようで、その分大変興味を持っ



てもらえたことが、私にとっては格別に嬉しいひと時でした。スポーツ連盟では、個々の種目組織では、子供を対象としたスポーツ活動は行われていいますが、これほどの文字通り丸となったイベントは現在ありません。

フェスティバルの会場となったスプラン市の広大なスポーツ施設。市長、教育長が率先して参加し、小学校のクラス担任が子供たちを引き連れてこのイベントに参加する。こぞって、子どもの権利を守ろうという大人たちの熱い思いが結集したイベントだったのだと振り返っています。

今回のフェスティバルを通じて得られた経験を活かし、新日本スポーツ連盟として、全国でも、私たち東京都連盟でも「子供スポーツ」に大いに力を入れていきたいと思っています。そうしてこそ、招待してくれた FSGT に応えることになると思います。（萩原）

第 28 回全国スポーツ祭典の成功をめざす 第 4 回祭典実行委員会が開かれる

本会議は、7月18日に浜松町の海員会館において、陸上、サッカー、バレー、野球、ソフトボール、ウォーキング、バスケットの7種目から10名、東京、神奈川、千葉県の各連盟から4名、全国スポーツ活動・組織局から3名の全体で17名の出席で開催されました。

4月7日の第3回実行委員会以降では、会場確保の面では、東京体育館を卓球大会で確保できましたが、野球、バドミントンで要請した立川の施設は断られました。

来年の全国祭典を広く愛好者へ知らせるために、「呼びかけチラシ」を9月末に作成する予定でしたが、祭典スローガンの募集の取り組みが間に合わず、遅れそうです。他団体との協力を推進していくためにも、「祭典の歩み」と「祭典趣旨」を作成することが必要とその案について討議されました。

次回の第5回祭典委員会は9月12日（土）に開催予定です。

（編集委員・北川）

東京卓球協議会の活動が卓球専門誌 「卓球王国」に紹介される！

「卓球王国」9月号の特集「卓球人口は増えている」の一環として、ここ急速に愛好者を増やしている新日本スポーツ連盟の活動を紹介したいということで実現したものです。

一昨年、日本卓球協会から「新日本スポーツ連盟の大会に日本卓球協会の登録会員が参加することは望ましくない」という通達が出されましたが、新日本スポーツ連盟では、このようなことは真の卓球の発展に繋がらないと、この間日本卓球協会との懇談を行ってきました。

多くの卓球愛好者の読者を持つ「卓球王国」が、新日本スポーツ連盟の活動に関心を抱き、「お互いに協力しながら卓球人口の拡大への道を探れないだろうか」とか、「排除、禁止ではなく融合・協力の方向へ進むべきだ」と提言していることは大いに共感するところです。（編集委員・北川）

他団体の大会への出場禁止に「納得いかぬ」

～青森愛球クラブが日本スポーツ仲裁機構に申し立て

2009年3月20日、青森市軟式野球連盟は評議員会議で「登録チーム及び選手は他団体（マルハンカップや新日本スポーツ連盟など）が主催する大会に参加してはならない」と決定しました。これに対して、青森愛球クラブ（※1）は、「他団体主催の大会への参加を禁止するのはおかしい」と訴求。日本スポーツ仲裁機構（※2）に不服の申し立てを行ないました。そして7

月8日、日本スポーツ仲裁機構から「青森市軟式野球連盟による大会参加を制限する決定を取り消す」という仲裁判断が示されました。

「どんな大会でも野球を楽しむ機会を多く持ちたい、というチームはたくさんあるんですよ」と、青森愛球クラブ代表の工藤志郎さんは、青森市軟式野球連盟の理不尽な決定に真っ向から立ち向かいました。この仲裁判断の後、

新日本スポーツ連盟の大会は青森市軟式野球連盟加盟の7チームを加え無事開催されました。

工藤さんは「今回の紛争は、青森市軟式野球連盟の運営の実権を一手に握る一役員（事務局責任者）主導による全国的にも特異な例かもしれません。競技団体は、競技者の意見・要望を取り入れる民主的な運営を心掛けるべき」と述べています。（編集委員・佐藤）

※1 青森愛球クラブ…新日本スポーツ連盟青森県野球協議会所属全国大会に第1～10回まで連続出場。全国優勝2回

※2 日本スポーツ仲裁機構…日本でスポーツに関する紛争の解決を行なう機関

Welcome to OUR SPORTS Club クラブ紹介

東京水泳協
江東水泳連絡会

亀戸火曜クラブ

「みんな自由奔放、でも仲が良い。ストレス発散できる場所」

クラブ名：亀戸火曜クラブ
クラブ員数：11名
代表者名：丸橋 みち さん
活動場所、主な練習日：亀戸スポーツセンター、毎週火曜日11時45分～13時30分

私たちのクラブは18年間続いています。その間には、クラブ員の激減、財政の危機、コーチの病気などなど波乱万丈がありました。でもクラブ員の豊富な英知のおかげで、切り抜けてきました。

現在は、「1500mにでてみようか！」と、目標を語るクラブ員が続出して、みんなで鮪の群れのように（5～6人ですが）遊泳しています。

練習は準備体操の後、それぞれのレベルに応じてアップの段階から、どんどん泳ぐ組、水中歩行から始める組に分かれ、無理なく自分のペースで行えますよ。



今年のお花見の時の全員での集合写真です。前列左から3人目が丸橋さん

クラブPR

①練習・指導について

- ・コーチの指導がとてもおもしろい。
 - ・科学的水泳論の雑談が楽しい。
 - ・泳ぎについての事を素直に話せる。
 - ・自分だけに合う、納得できる泳法で指導してもらえる。
- ※画一的な教え方はせず、それはもう個性的な教え方ですが、とても丁寧にわかりやすいんです。

②運営・メンバーについて

- ・クラブ運営のことはみんなで分担します。会計、会場確保、交流会…実は代表が一番楽かも！？
- ・意地の悪い人は1人もいません。
- ・明るくて、笑い好き。好奇心も旺盛です。そしてなぜか純情なんです。興味を持った方、いつでも遊びに来てください。待つてマ～ス♪

※クラブ紹介記事募集中！

あなたのクラブを都連盟のみなさんに紹介してみませんか？練習の様子、歴史など、クラブのPRポイント等を書いて都連盟まで送って下さい。宛先は1ページの右上を参照してください。

東京都連盟 NEWS

15年間続いている伝統あるリーグ戦 杉並区前期バスケットボールリーグ

本リーグも2009年度前期リーグで30シーズン目を迎えることになりました。今シーズンも6チーム3部編成の都合18チームが参加しています。各部総当たりのリーグ戦で合計45試合が行われます。一試合当たり15名参加と仮定すると、のべ675名、前後期合わせると1300名ほどの選手が参加するイベントとなっています。毎回各部の入替え戦を行い各チームの交流と同時に向上心の維持が図られています。

現在が一番の問題は、年間90試合のための体育館確保と審判、オフィシャルのレベル維持です。まだ取り組みには温度差ありますが、今後もこのリーグを維持していくためには、参加各チームのますますの協働が不可欠だと思います。(リーグ世話人・MMF 菰田)

3か月かけてじっくりテニスが学べる 中野区テニススクール

中野区テニス協議会ではA～Gコースまでのテニス教室を用意しています。それぞれのT・P・Oに合わせてテニスを楽しめるよう考えています。

コーチはプロの中屋晋コーチ、アシスタントに杉山コーチ担当です。このレッスンの特徴は開始時間から終わりまで、徹底した理論の説明の上で練習を行なう事で、“コーチがやって見せ、言って聞かせて、させてみて・・・”コーチ、スクール生徒が一体となって練習に励む姿勢です。

月一回の第2土曜日早朝はサラリーマン、主婦を対象に6時～8時の練習

です。もう1人のプロコーチ、大野さんの指導で毎回テーマを設定、今回はサーブのみ、次回はボレーのみと練習に焦点をあわせ、後半は応用編で練習試合を楽しみます。

継続して参加する人が多く、実力がどんどんつき、連盟主催のテニス大会に参加し、活躍している姿は我々スクール担当者の生き甲斐にも感じられます。

(中野区テニス協議会理事 三浦 徹)



中高年の方にもスポーツする機会を提供 第47回北区スポーツ祭典シニア バレーボール大会 滝野川体育館 8/2

本大会は10年前に「中高年にスポーツの場を提供しよう」というスローガンのもと始まりました。皆さんの協力を得て年々参加チームが増えてきた事は嬉しい限りです。

楽しみ方は、勝利にこだわり勝ちにくいチーム、試合を通じ仲間との交流を深めるチーム、体を動かすことを目的として勝敗にはこだわらないチームなど、様々です。

試合後に「本当に楽しかった」と声をかけてくださる方が年々増えてきているのが参加チーム増加の証であるように思えます。

今回の参加チームは26で250人強の選手が参加されました。試合はチームのレベルに合わせて、3つのブロックにクラス分けして行いました。試合内容は3セットまで進む白熱して接戦が多く、参加チームには大いに楽しんでもらえたと思います。

(北区連盟シニアバレーボール委員会)

各世代別に分かれ、競い合う 「板橋スポーツ祭典卓球大会」

上板橋体育館 8/1, 8

8月1日、8日の二日間にかけて、板橋スポーツ祭典卓球大会が開催されました。1日に行われた年代別団体戦は、3人から5人の範囲で構成する1チームのメンバーが、40歳代、50歳代、60歳以上と、年代別に定められたクラスで行われる試合形式です。ただし、上の年齢のプレイヤーが下の年代に参加することは可能です。試合は、ダブルス1試合とシングルス2試合の合計3試合で行われ、2試合先取で勝敗を決定します。年代別団体戦には、59チームが出場しました。

8日の女子一般団体戦は、ダブルス2試合、シングルス3試合の合計5試合で行われ、24チームが出場しました。(編集部)

高すぎる使用料に関して区と交渉を続ける 新宿バドミントン協議会第12回総会

8月17日、高田馬場において例年通り、定期総会を開催しました。活動方針、役員改選、会計報告等が行われました。

昨年度も議題の一つに挙げられたましたが、相変わらず新宿スポーツセンターの使用料は他区と比較すると数倍です。これは新宿区の後援が得られない事に起因しており、後援を求める交渉を続けていますが、新宿区では後援事業自体を減少させたい意向があり、未だに進展は見られません。

しかし、3月にスポーツセンターの指定管理者(東宝サービス)と新宿区連盟との間でバドミントンの09年度の優先使用行事が内定できたのは収穫でした。引き続き、新宿区とは粘り強く交渉を続けていく予定であり、その際には皆様の支援をお願いします。

また、今年度中、または来年度より2クラブが新規に加盟されました。(新宿バドミントン協議会会長・大野)

650人がエントリーした、夏場の定番！

ナイター陸上競技大会

江東区夢の島競技場 7/20

夏場の大会として定着した感のあるナイター陸上競技大会。11回目を迎える今回も多くのアスリートたちの熱戦で盛り上がりました。

まだ日差しが高い中で行われた一般男子1000m(14組)では、暑さ、強風という悪条件の中、10秒台が2人出るといふハイレベルな戦いとなりました。

照明が灯った19時から行われた女子5000mでは、18分台が6人と見応えのあるレースとなりました。6組タイムレースで行われた男子5000mも高湿度とのたたかいとなりましたが、それぞれのクラスで競い合い、自己記録への挑戦をかけて走りぬきました。

(東京RCニュースより編集部まとめ)



第38回東京海の水泳教室大成功！

館山北条海岸 7/31～8/2

寒さの限界に挑戦した今回の遠泳でした。7月31日～8月2日、千葉県館山北条海岸にて、31名の参加者、10名のスタッフで開催されました。異常気象と言われ海水温度がなかなか上がらず、開催当日も22℃～25℃くらい。常連の参加者でも「冷たすぎて辛い」「足が重くなって動かない」などなど、泳者には初めての厳しい体験をした今回でした。最終日の磯遊び、初めての企画でしたが雨のため実施できず、本当に残念でした。

しかし一件の事故もなく、冷たさや雨にも負けることなく、3km2時間

03分・5km2時間47分と各遠泳班全員が完泳しました。子ども達3名の初級班、初めて海を経験する人を含めた泳力向上、各々素晴らしい成果を収め「私の宝物です」と、担当指導員から記録証を受け取り笑顔で帰路に着きました。(第38回東京海の水泳教室 事務局長・宮久保)

若い世代の参加が増え、レベルが向上

第46回東京スポーツ祭典卓球団体戦

中央区総合スポーツセンター、他

8/1, 8, 9

本大会は今年から、一般の部とベテランの部と分離開催となりました。ここ数年、参加レベルが上がり男女とも、若い選手中心のチーム、大学、実業リーグなどで活躍した選手を補強したチームの活躍が目立っています。最近若い世代にスポーツ連盟の趣旨・競技内容が理解され、全国大会に出て、強い選手とやってみいたいという要望が集約できていると感じています。

年配の方たちのチームが少し参加を控えておられたのが残念でしたが、息が抜けない試合が多く、観戦して見応え十分でした。

(東京卓球協・赤坂)

今、中学生に卓球が人気！

第12回関東オープン中学生卓球大会

駒沢体育館、東京武道館

7/28,29 8/10,11

3月の春休みの大会に続いて、夏休みの関東オープン中学生大会が、7月28日、29日に駒沢体育館で団体戦を、8月10日、11日に東京武道館で個人戦が開催されました。

5月に横浜で世界大会が開催され、日本の中学生の大活躍があり、連日テレビで放映された影響もあって中学校のクラブ員が増えています。これまでも個人戦は1000名を超え、お断りするのが恒例になっていました。今回は、団体戦に中学49チーム、高校71チー

ムの合計120チーム、個人戦には中学354人、高校431人の計785人となり珍しく定員割れになるという参加状況でした。

原因としては、大会期日が考えられます。夏休みは各学校でいろいろな行事が催され、また他団体の卓球大会などと重なったりすることが多いからです。今後、事前の調査などよく行い中高生が参加しやすい日程を組めるよう気をつけたいです。

(東京卓球協議会中高生担当 藤岡節子)



照りつける日差しの下でも、自然の優しさに包まれた楽しい一日

東京ウォーキングクラブ8月例会

阿佐ヶ谷駅集合 8/22

連絡・注意事項の伝達及びストレッチの後、阿佐ヶ谷駅前の中杉通りを南に向かい青梅街道を横断、善福寺川・児童橋から川沿い6.2kmを遡流し善福寺公園へ。緑濃い木々が涼しさを演じていましたが、途中から陽が直接肌をじりじり照りつけてきました。しかし垣根や空地に綺麗に咲いた花や川中の鳥や魚が歩行者を優しく労ってくれました。

善福寺公園「下の池」を過ぎ「上の池」に到着し、ちょうど12時に昼食休憩をとりました。皆さん、持参した食べ物を他の方にも配られ、楽しい時間になりました。食事後、地名の元になった善福寺を経て、「女子大通り」を西荻窪駅まで全員完歩しました。完歩証を受け取り来月の再会を確認し解散し、楽しい一日を過ごせました。参加者は19人(会員16人、一般3人)でした。

(東京ウォーキングクラブ・蘭田)

都は都民要望に基づく具体的なスポーツ振興を—都民生活要求大行動

広範な都民団体と労働組合が共同して行う「都民生活要求大行動」が今年も行われます。

都連盟は、実行委員会において7月末に集約した都民要求の「スポーツ要求」として、東京都は、オリンピズムの根本原則に示された「すべての人がスポーツをする機会を与えられなければならない」という考え方を都のスポーツ振興施策の中心に据えること、特に東京都においては、公共スポーツ施設の不足の事実を認めるべきことなどを要求しました。

昨年の交渉では、都は東京においてスポーツ施設が不足していることを認めず、スポーツ実施率の向上についても、(施設の不要な)ウォーキングやランニングがブームであることに期待するという、スポーツ振興行政の役割を放棄する姿勢となっています。オリンピック招致を一方で掲げながら、肝

心のスポーツ振興策についてはむしろ見解が後退する状況にあり、都連盟として、具体的なスポーツ振興策を実現するための来年度の予算要求を通して、スポーツ振興行政の転換を求めている内容となっています。

要求事項は他に、スポーツ施設整備構想の策定、都内区市町村立施設への整備補助制度の創設、武蔵野の森建設予定施設を都立スポーツ施設とすること、トップスポーツ選手・コーチへの継続的支援の充実、体育協会等や「地域スポーツクラブ」に偏重しない公平なスポーツ団体支援、都立施設の使用料の値下げなどを求めています。

都からは10月中旬までに文書によって回答される予定で、10月26日には、全団体参加で再質問を行います。(編集部)

いよいよ大詰め！2016年オリンピック競技大会の開催地は10月2日に決定 ～オリンピック招致は抜本的に見直し、2016年の招致立候補は撤回を

2005年に東京都によるオリンピック招致が表明されて以降、都連盟は、東京都の「招致」が抱える問題点について検証と指摘を行ってきました。06年8月には、「都民不在」の不適切、スポーツ振興が貧困な「無資格」などを都に申し入れました。また、今年4月には、「異議あり！2016石原オリンピック」集会を開催し、開催計画、招致活動は、スポーツ施設が貧困で過密都市となっている東京において、都心部に競技施設を集中させる「無理」や、施設やインフラ整備、招致活動にかかる経費を過小に見せる「ごまかし」を含んでいることなどを指摘してきました。6月には、各国のオリンピッ

ク委員会やIOC委員に対して、都の招致は、都民批判が強い再開計画強行の手段とされており、目的に問題があることなどを指摘する手紙を送付しています。

2016年のオリンピック開催都市は、10月1日から開催されるIOC総会において決定されます(決定は2日)。「異議あり！2016石原オリンピック連絡会」は、IOC総会が開催されるコペンハーゲンに代表団を派遣し、IOCに対して直接、今回の「東京招致」を教訓にしたオリンピック運動の発展の問題について、意見交換を行う予定です。(編集委員・井上)

※派遣募金をお願いします！

郵便振替 00110-4-147247 新日本スポーツ連盟東京都連盟ま

都連盟理事会報告 第5回 8/10 18人中9人参加 主な議題

- ・杉並区連盟・理事会の運営強化について
- ・都民生活要求大行動
- ・東京反核平和マラソン報告
- ・東京オリンピック・パラリンピック招致委質問
- ・サマースポーツセミナーの取り組み
- ・「OUR SPORTS 東京」発行について
- ・専従職員・臨時職員雇用と規定の作成について

経過と予定

- 7/13 第4回理事会
- 7/18 全国スポーツ祭典実行委員会(第4回)
- 7/21 FSGTフット・ア・セット代表団来日準備会議(井上)
- 7/23 東京反核平和マラソン実行委員会(第4回)
- 7/24 都民生活要求大行動実行委員会(第2回)
- 7/27 三役会議
- 7/30 異議あり！オリンピック連絡会(第4回)
- 7/30 オリンピック招致委員会訪問(異議あり！連絡会、萩原、井上)
- 7/31 東京自治フォーラム実行委員会(第3回)
- 8/1 第14回東京反核平和マラソン

- 8/5,8/8 東京RC競技大会準備学習会(井上)
- 8/6「OURSPORTS 東京」編集会議
- 8/10 第5回理事会
- 8/12 東京自治フォーラム実行委員会(第4回)
- 8/24 三役会議
- 8/29/30 サマースポーツセミナー(石川県)萩原、井上、小林
- 9/4「OURSPORTS 東京」編集会議
- 9/8 関東ブロック会議
- 9/12 全国スポーツ祭典実行委員会(第5回)
- 9/14 第6回理事会
- 9/18 FSGTフット・ア・セット代表団来日

「杉並区民に根差した連盟の強化を」

杉並区連盟は、各種目(卓球、バスケット、バレー、テニス、バドミントン)の活動は独自に行われていますが、区連盟としての運営は施設確保・区広報への掲載などを行っているのみとなっています。都連盟として、今期は杉並

区連盟の活動と運営を活発にし、地域愛好者のスポーツ要求を実現する地域連盟として強化することをめざしています。8月6日には、各種目の役員に呼びかけ、要求の集約、対区交渉(12月をめどに)を行うことなどを確認しました。

「招致委員会に申し入れと意見交換」

7月30日、「異議あり！2016石原オリンピック連絡会」は都庁内の招致委員会事務所において、東京オリンピック・パラリンピック招致委員会に対して質問を行いました。都連盟からは、萩原理事長と井上事務局長が出席しました。(井上)

都連盟スポーツカレンダー 2009年9,10月

卓球

- ・第18回全国卓球選手権大会 個人戦東京都予選 9/22,23 (火・祝、水・祝) 大森スポーツセンター
- ・第7回ラージボール大会 10/9 (金) 東京武道館
- ・ハローレディース個人戦 10/28 (水) 東京体育館メイン・サブ

- ・東京卓球協後期リーグ 10/31 (土) 駒沢屋内球技場

北区

- ・第47回北区スポーツ祭典3ダブルス卓球大会 10/4 (日) 十条台小体育館

中野区

- ・中野スポーツ祭典団体戦 9/26 (土) 中野体育館

練馬区

- ・第27回ベアマッチ卓球大会 10/17 (土) 練馬区立光が丘体育館

新宿区

- ・新宿ダブルス大会 9/21 (月・祝) 新宿スポーツセンター

世田谷区

- ・世田谷卓球大会 9/23 (水・祝) 世田谷体育館

大田区

- ・大田卓球大会 9/21 (月・祝) 大森スポーツセンター

多摩地区

- ・多摩ベアマッチ大会 9/22 (火・祝) 柴崎体育館

陸上

- ・検見川ランニング教室 9/5～6 (土～日) 千葉・東京大学検見川総合運動場

- ・第46回東京スポーツ祭典陸上競技大会 10/24 (土) 国立霞ヶ丘競技場

- ・9月度月例ランニング講習会 9/20 (日) BumB (東京スポーツ文化館 研修ルームB)

北区

- ・月例赤羽マラソン 9/27 (日) 岩淵堤防土手
- ・第47回北区スポーツ祭典マラソン大会 10/25 (日) 岩淵堤防土手

多摩地区

- ・月例多摩川ロードレース 9/13、10/11 (日) 多摩川・国立ランニングコース

スキー

- ・スキーセミナー 9/6 (月) 新宿スポーツセンター

テニス

- ・オータムオープン 9/6 (日) 都立有明テニスの森公園テニスコート

- ・第46回東京スポーツ祭典テニス大会 9/13 (日) 都立有明テニスの森公園テニスコート

北区

- ・第47回北区スポーツ祭典硬式テニス女子ダブルス大会 9/13 (日) 新河岸コート

- ・第47回北区スポーツ祭典硬式テニス男子ダブルス大会 9/23 (水・祝) 新河岸コート

- ・第47回北区スポーツ祭典硬式テニス 団体戦大会 10/4 (日) 新河岸コート

練馬区

- ・第21回クラブ対抗団体戦 9/23 (水・祝) 土支田庭球場

- ・第41回練馬スポーツ祭典ソフトテニス大会 10/18、25 高野台運動場テニスコート

- ・第30回秋のテニス教室 10/11、18、25 夏の雲テニスコート (9:00～12:00)

- ・連盟クラブ交流戦 10/11、18、25 夏の雲テニスコート (12:00～15:00)

板橋区

- ・秋季大会 10/18 (日) 徳丸ヶ原公園テニスコート
- ・秋季レディース大会 10/26 (土) 新河岸コート

中野区

- ・テニス教室A・Bコース第2期 9/28 (月) 中野体育館

- ・テニス教室C・Dコース第3期 9/3,10,17,24 中野体育館

- ・テニス教室E・Fコース第2期 9/10,17,24 哲学堂テニスコート

サッカー

- ・'09ミニサッカーフェスティバル 9/20 (日) 駒沢競技場

バドミントン

- ・第1回東京オープンバドミントン大会 9/19 (土) 滝野川体育館

練馬区

- ・第4回練馬秋季バドミントン大会 10/4 (日) 練馬区立総合体育館

板橋区

- ・第46回板橋スポーツ祭典バドミントン大会 (ダブルス) 9/26 (土) 板橋区立上板橋体育館

中野区

- ・第47回中野スポーツ祭典バドミントン大会 10/18 (日) 中野区立体育館

多摩地区

- ・第46回東京スポーツ祭典多摩バドミントン大会 9/21 (月・祝) 稲城市総合体育館

バレーボール

- ・第46回東京スポーツ祭典バレーボール大会ブロック予選 9/22 (火・祝) BumB・新座市民体育館

北区

- ・第47回北区スポーツ祭典バレーボール 予選男子・女子 9/19、10/4 (土・日) 滝野川体育館、西浮間小体育館・十条中体育館

板橋区

- ・板橋レディースバレーボールオープンリーグ大会 9/6、10/25 (日・日) 赤塚体育館

杉並区

- ・杉並スポーツ祭典バレーボール大会 9/21 (月・祝) 上井草スポーツセンター

野球

北区

- ・北区連盟リーグ戦 9/6,20 中央公園野球場、又は新荒川大橋野球場

練馬区

- ・第41回練馬スポーツ祭典 9/6,21,22,23、10/11 北大泉野球場

ソフトボール

北区

- ・第47回北区スポーツ祭典ソフトボール大会 9/27 (日) 中央公園野球場

ウォーキング

- ・真鶴半島を歩く 9/27 (日) JR真鶴駅 集合
- ・関東ブロック交流会ウォーク「川崎市生田緑地への集中ウォーク」 10/24 (土)

その他の種目

- ・第46回東京スポーツ祭典空手競技大会 10/4 (日) 東京武道館第2武道場

北区

- ・第47回北区スポーツ祭典太極拳初心者教室 9/7～11/30 王子小体育館

編集後記

『ベイビーステップ (週刊少年マガジン連載)』というテニス漫画にハマっている。ガリ勉・優等生の主人公が、ふとしたことでテニスをやるようになり、1球1球メモをとるといふ緻密なプレイスタイルでどんどん上達していくという物語だ。“根性・必殺技・友情”というスポ根漫画にありがちな要素がまったく見られない。「いかにテニスがうまくなるか」だけに焦点を当てている。そこが面白い。

最近、テニスを教わる機会が何度かあり、初心者ながら「テニスって楽しい!」と思うようになってきた。1球打つごとに新鮮な感覚。しかし『ベイビーステップ』の主人公のようにするには、メモをとらなきゃ…。

(編集委員・佐藤)